

共同募金運動にご協力どうもありがとうございました。

平成20年に鎌倉市内で集まりました募金は以下のとおりとなりました。
様々な方法で募金活動にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

赤い羽根共同募金 17,381,433円
年末たすけあい募金 11,403,837円
合 計 28,785,270円
(平成21年2月20日現在)



配分報告

配分区分	配分金額	配分時期
1 福祉施設・団体等		平成21年度
2 県共同募金会鎌倉市支会事務経費	450,000円	平成21年度
3 地域福祉推進活動(市社協事業費)		平成21年度
4 年末たすけあい	4,877,000円	平成20年12月
5 市社協年末たすけあい事務経費	160,000円	平成20年度

配分内容

1	市内の社会福祉施設・団体等への活動経費や必要な機器の購入費として配分予定です。
2	県共同募金会鎌倉市支会による募金(赤い羽根・年末たすけあい)活動経費として活用する予定です。
3	市社協によってボランティアグループ助成、ボランティア研修・講座、福祉教育推進事業、介護用品給付・貸付、ひとり暮らし高齢者誕生会、福祉法律相談、日常生活自立支援事業、地区社会福祉協議会へ助成、災害見舞金給付事業等に活用させていただきます。
4	要援護世帯、交通遺児世帯、福祉施設・当事者団体、地域作業所、地域作業所、生活ホーム・グループホーム、鎌倉市ボランティア連絡協議会、地区社会福祉協議会に配分いたしました。
5	市社協による、年末たすけあい配分事業事務経費に活用させていただきました。

詳しくは、「共同募金会(はねっと)」のホームページをご覧ください。

はねっと

検索

<http://www.akaihane.or.jp/hanett/>

前号「福祉作文」の感想が届きました。

福祉作文コンクールの記事にとっても感動しました。今、私は30歳を目前に将来について日々考え悩んでいます。子育てをしながら働く事は、やはり勤め先の方々のご理解が必要です。なので責任の少ないパートもいいのですが・・・「誰かの手になりたい!目になりたい!元気に生まれてきたのだから、助けが必要な方の力になればいいな」と、この頃思いが強くなって、しかし「何ができる?」「常勤はきびしいな・・・」等、前に進めない気持ちでした。でも「社協だより2月号」を拝見し、中学1年生の「森本鈴佳さん」に背中を押してもらいました。今後の生き方を家族と話し合ってみようと思います。

(大町在住 20歳代女性)

ふくしコラム7

鎌倉市社協住宅改造相談 相談員

一級建築士 大川 友理枝



チームアプローチ

本号よりふくしコラムを連載することになりました大川です。よろしくお祈りします。現地相談でお宅へ訪問すると、「建築士の方が来ると聞いていましたので、男性だと思っていたら女性なんですね。良かった!」と言われることがあります。

誰でも建築士が家を見に来るなんて思うと少し緊張しますよね。こんな時、私は女性でよかったなと思います。と言いますのも、神奈川県建築士会の中で数少ない女性建築士が集まって、生活者である女性の目で、社会に貢献できる活動ができないものかと、これから始まるであろう高齢社会について勉強会を持ち、高齢になる体の変化やお年寄りとのお話の仕方など各専門家に依頼して勉強を続けていました。平成2年神奈川県福祉プラザに全国に先駆

けて「高齢者総合相談所」が開設され、福祉・医療・保険・建築関係者との連携のもとに窓口相談が始まり、建築士会からは勉強会仲間が相談員を引き受けました。しかし、机上で行われる相談では、本人の生活状況、住まいの状況が十分わからないままのアドバイスになってしまいます。対象者に適切なアドバイスをしたいという担当者の熱意が届いて、平成6年に城山社協で相談者のお宅へ伺い話を聞き、実情に即した適切なアドバイスが行えるようになりました。建築と福祉の専門家を一緒に現地派遣する「チームアプローチ」が注目を集、同様な取り組みが市町村単位で広がっていきました。

私も現在鎌倉の皆さんのお宅へ伺って住宅相談をさせて頂いています。年をとっても住み慣れた家で「安全に安心して」住み続けられるようお手伝いできれば幸いです。



福祉施設からのお取り寄せ



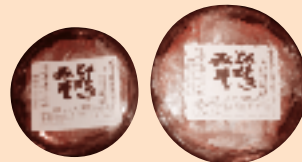
今回はここ

社会福祉法人 ほしづきの里 授産施設 工房ひしめき



写真:日替わり丼弁当

カロリー計算された女性・高齢者向けのヘルシーメニューです。一食550円で3食から無料で配達しております。ボリュームが欲しいあなたは、かつカレーや牛丼などの定番メニューもご用意があります。



北海道産黒の子大豆で、手作りの無添加お味噌!!
小(500g)530円 大(1kg)1,050円

その他、手芸品(アンパンマン指人形)、紙製品(名刺、コースター、葉書等)など複数手作り品を取り揃えております。



さ〜盛り付けだ!!

工房ひしめきからの一言・・・

食材などは、地域が元気になるように地産地消を意識して仕入れられています。各種パーティーメニューや最大250食までの仕出し可能です。まずは職場や地域のお集まりなどで日替わりメニューをお試し下さい。その他、各種お取り寄せもご相談ください。

連絡先 工房ひしめき 住所:鎌倉市鎌倉山2-8-34

電話(33)0882までお気軽にご連絡ください。但し、お弁当の受付は当日8:30~10:00までになります。詳しい商品紹介はホームページをご覧ください。

工房ひしめき

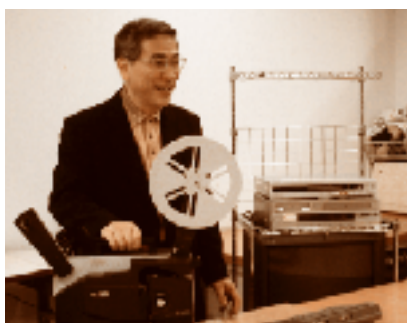
検索

<http://www4.ocn.ne.jp/~hishimek/>

はじめの一步

鎌倉をもっと住みよいまちにするため、地域福祉活動にご活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。みなさんがどのような“きっかけ”で活動をはじめ、どのような“想い”をもって活動されているかをご紹介します。

●今回は16ミリ映画の映写活動、大人や子供向け映画会を行っているボランティアグループ「りんどう」の佐藤信さん(61)にお話を伺いました



編集機材に囲まれて。映写機の確認に余念がない佐藤さん

や市内で催される講演会などのビデオ撮影をしているボランティアグループ「りんどう」でした。

鎌倉生涯学習センターで親子映画会を行う「りんどう」の活動見学で目にした16ミリフィルム映写機。「映像はデジタル化の進んだ現代の技術には到底及ばない。しかし、カラカラと音を立てながら映写幕に映し出される映像にはどこか懐かしさとアナログの魅力を感じると佐藤さん。

現在も鎌倉市中央図書館には16ミリフィルムで過去の記録映像や子供向けの短編映画が貴重な資産として数多く残されています。痛みやすいフィルムや映写機の扱いには細心の注意が必要。佐藤さんは県立図書館で行われた講習会で「16ミリ映写機操作技術認定証」を取得しました。

佐藤さんは先日「りんどう」での初仕事として「親子上映会の案内チラシづくり」に挑戦。「市民の目にとまる図書館などに自分が作った案内チラシが置かれているのをみた時、少しはお役に立てたような気がして、ボランティア活動を始めた事を実感した」と照れた表情で話してくれました。無理をせず楽しみながらのボランティア活動をスタートした佐藤さん、これからのご活躍を期待しています。

「りんどう」の詳細については、市社協までお問い合わせください。
電話(23)1075
取材担当(広報活動サポート会議メンバー)小野恵子さん

